

同窓会 たびり

度会新会長に交代



同窓会の発展を

同窓会長 度会敏彦

この度、同窓会長の大役を引受けるにあたり戸惑いを感じております。

私は岩村高等学校の卒業です。

現在、岩村高等学校の校舎は恵那特別支援学校になっており、思い出の多い母校はありません。しかし、母校は平成十九年に明智商業高校と統合し、恵那南高等学校として生まれかわったのです。みなさまにおかれましても、なかなか切り替えられないとは思いますが、まず自分から率先し努力してみますので微力ではありますがご協力をお願いいたします。

同窓会の主な事業は生徒への支援活動です。勉強やスポーツで頑張っている生徒への奨励として、毎年三名に同窓会表彰の記念品を贈っています。

また、就職活動の協力として三

恵那南高校となって6年目を迎え、度会敏彦さん(昭和39年岩村高校普通科卒)が新しい同窓会長として任に就かれることとなりました。5年間同窓会長を務めていただいた勝正憲さん、ありがとうございました。
また、学校長も昨年度から大嶽和好先生が着任されておられます。

発行 恵那南高等学校同窓会
〒509-7793
恵那市明智町41-2
http://school.gifu-net.ed.jp/enaminami-hs/
TEL (0573) 54-2537
FAX (0573) 54-4652
印刷・デザイン 株式会社サラト

同窓会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校教育の一層の充実と発展のために、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。恵那南高校となって早くも六年、三回の卒業生を送り出しました。現在、五つの系列(文系・理系進学、福祉保育、ビジネス、情報)を持つ二クラス定員の総合学科高等学校として、



校長 大嶽和好

同窓会報の発行に寄せて

また恵南地区唯一の高等学校として期待に応え、その役割を果たすべく生徒・職員、そして、支援していただく皆様とともに引き続き新しい学校づくりに努めて

また恵南地区唯一の高等学校として期待に応え、その役割を果たすべく生徒・職員、そして、支援していただく皆様とともに引き続き新しい学校づくりに努めて

本校は総合学科高校として、地域の信頼に基づき、地域とともに成長する学校づくりを進める途上にあります。同窓生の皆様の経験や見識等を学校教育に生かすことをお願いする場面もあろうかと思えます。学校情報は広報紙やホームページ等でお知らせしてまいります。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会報第三号の発行をお祝いし、信頼と絆をさらに強くする契機となることを祈念いたします。

他の部活動もインターハイ等で素晴らしい成績をあげていると聞いています。同窓会委員のみならず、まも好きな部活動の応援をお願いいたします。

恵那南高等学校が発足し、すでに六年目を迎え、恵那南高校を卒業された方も同窓会総会に参加していただきました。我々が恵那南高等学校を愛し、岩村高校、明智商業高校の思い出を恵那南高等学

おります。

斬新な校歌と伝統を受け継ぐ校訓「温故知新 百鍊成鉄」の実践により、知・徳・体の調和のとれた心豊かな、自主性に富んだ人間の育成を目指しています。その特色ある活動の一つとして、まさに隣接する小中学校や恵那特別支援学校との交流と連携による教育活動「浪漫学園」を展開しています。

地域ボランティア活動とともに、生徒の進路目標の達成や将来の伸びしろの中に、活動の経験と成果が表れるものと考えております。

高校生活を語るに欠かせない部活動は、陸上競技、硬式野球、バスケ、卓球、ソフトテニス、弓道、スケートボール、女子バレーボール、卓球、ソフトテニス、弓道、スケート、吹奏楽、ギター・マン

ドリ、コンピュータ、美術、地域振興、奉仕の各部が地区大会や県大会など公式戦の場において、また地域の各地において力を発揮し活躍しています。陸上は東海総

体出場、吹奏楽は県コンクール銀

賞、ギター・マンドリンは県音楽

会金賞受賞を果たしました。ぎぶ

清流国体開催の今年、会場地でも

ある冬季大会のスピードスケート

校につなげていかななくてはなりません。

同窓会の運営はみなさまの年会費の資金で成り立っています。この会報発行や生徒への報奨金等を実施していますが資金運営について厳しいのが現状です。今までも同様に恵那南高等学校同窓会発展のため、会員のみなさまの温かいご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

小生が岩村高等学校を卒業したのは昭和三十四年で五十二年も前である。

校門をくぐって左右に校舎があり正面が玄関と職員室であったが、小生の校舎は左側の木造二階建ての突っ張りがある古びた校舎であった。入学間もないころ、校門を入ると上級生が何人か待ち受けていて挨拶の検問があり態度や発声が悪いと随分説教を受けた。高校は先輩後輩の掟を勉学より優先して仕込まれた印象がある。当時の高校進学率は三十五パーセント位だったので出来が悪いながらもプライドを持って勉学に励んだ。

実習授業の農場が校舎から二キロ位離れた分根地区にあり往復は

明智商業高等学校を卒業してもうすぐ十年、そろそろ独身生活も飽きてきた今日このごろ、私は明知鉄道で働いています。普段は車両整備をしていますが時々列車の運転もします。お客様のほとんどが学生さんということで、恵那南高等学校の生徒さんや恵那特別支援学校の生徒さんなど、多くの方に利用していただいています。

毎日列車通学する学生さんたちを見てると自分が通学していたときの事を思い出します。自分が在学していた時は始業時間が遅かったためのんびり登校していましたが、何年か前に早まったため、今では始発列車でない間に合わないという事が大きな変化でしょうか。一両編

先生の運転で学校のオート三輪車の荷台に鈴なりに乗り込み農場へ通った。三年生になるとクラスの人かが運転免許を取得していたので放課後オート三輪車で木の実峠



母校を偲んで

藤井鉦三 (昭和34年 岩村農業科卒)

あたりまでキノコ採りや山遊びに遠征した。今では考えられないことである。野外実習は教室を離れ、本当に楽しく実習授業は待ち遠しかった。

通学は明知線利用が主体であ

り登下校時は岩村の街中は生徒でいっぱいになり大変にぎやかで活気があった。生徒も多かったのか部活もいろいろ有り、小生は柔道部に所属した。

年に一度大きな柔道大会が有り、岩高はいつも岐阜市で開催される県大会に参戦できた。県大会に直接参加できるのは強いのでなく高校数が少なかったための幸いだったかもしれない。当時遠征の機会が少

ない時代に田舎者の我々は都会に出て目新しいものに目を見張り、大きな食堂で都交のメニューに舌鼓を打って帰ったことを思い出す。思い出の深い行事は体育祭である。

る。青春の情熱を、競技や応援に注いだ小生も応援団長をつとめ、完全燃焼した一人だ。そして競技の後、夜の更けるまで全校生が赤々と燃えるファイヤーを囲み踊ったフオークダンス。ヒット曲「高校3年生」

の歌詞そのものである。今でもこの歌を聞くたび、友人達の手の温もりと情景を鮮明に想い出す。

岩村高校の校歌は文教の町にふさわしく誠に優れ大変気に入っている。思い出として歌う機会はある。岩村高等学校の校歌として今は歌う事は出来ない。同じ学び舎を卒業した多くの先輩後輩も小生も母校は岩村高等学校であり多くの思い出を心にとどめ大切な宝物にした。

最後に、統合した新生恵那南高等学校に岩村高校の精神を引き継がれ恵那南高等学校のますますの繁栄と同窓生のご多幸を祈念申し上げます。

成の列車は明智到着時には学生でいっぱいになります。また始発の恵那駅から終点の明智駅まで通うという学生さんも当時より増えているように見受けられます。



明知鉄道の運転席から

遠山弘樹 (平成15年 明智商業科卒)

ている子も見なくなりました、やはり毎年入学と卒業と生徒が入れ替わっていくといういろいろ変わるんですよ。

上さんばかりだった明知鉄道に若い運転士が入ったため印象に残っていたそうです。他にも「三年間も列車で通えばやっぱり顔も覚えちゃいます」なんて言われた事もあります。

車内の学生の様子も私が通学していたころより遙かに変わってきています。私を通っていたころはリーゼントやロング頭の生徒が何人かいました。そんな生徒は見かけなくなりましたし、ダボダボのズボンを履い

という人は沿線に沢山いるのだと実感した事がありました。とある地元のお店に友人と入っていくと、店員さんに「明知鉄道の運転士さんですよね？」と言われたことは何回もあります。なんでも年輩の運転

た。覚えていてくれるっていうのは嬉しい事です。これだけ多くの学生さんを毎日列車で駅から駅へ乗せていると、この中に将来大物歌手か政治家か、そんな著名な人材が今この列車の

中に乗っているんじゃないか、なんて思う事があります。大きく分けて進学か就職か進路を決める大切な時期の在校生たちは、私より大きな未来への可能性を秘めている子たちばかりなので羨ましいと思う事もしばしばありますし楽しみでもあります。



恵那特別支援学校校門



恵那特別支援学校は、平成二十一年四月に恵那南高等学校岩村校舎の跡地に一括移転してきました。今年で三年目を迎えています。現在は、児童生徒数一六〇名、職員数一〇名。県内の特別支援学校の中でも大規模な学校の一つとなりました。恵那市・中津川市在住の児童生徒がほとんどで、五台のスクールバスで市内のあちらこちらから通学してきます。高等部の生徒は、半数以上の生徒が社会的自立のために、明知鉄道を使って自力で通学してきます。岩村町内では、朝晩、地域の皆様に見まもられながら元気に登校する高校生の姿が見られるようになりました。

恵那特別支援学校の今

恵那特別支援学校校長

岩本 隆明

さんや「飯羽間財産区」のみなさんの模擬店が並びます。昨年までは、流しそうめんも子どもたちに振る舞っていただきました。岩村城女太鼓のみなさんの演技も常連となっております。地域のボランティアのみなさんにも大勢駆けつけていただいて大盛況です。また、年三回、ロックビレッジバザールと称して、本校の中学部・高等部の授業で製作した製品の販売を実施していますが、平日にもかかわらず地域のみなさんに大勢押しかけていただき、人気商品はすぐ完売となっております。

文化祭は岩村高校の伝統を引き継ぎ「知新祭」として実施。もちろん、地域のみなさんにも公開です。毎年たくさんの方々に来校していただいています。さらに、運動会、岩村町内の名所旧跡を巡る遠足、地域の方の田んぼやぶどう園をお借りしての農業体験、あるいは繊織り、花餅作り等々、今や本校の教育は地域の皆様のご支援とご協力なしでは成り立ちません。

様々な障がいのある子どもたちですが、地域の人たちとのつながりが教育には欠かせないのです。このようにつながりも、かつての岩村高校の卒業生の皆様が築いてこられた伝統があればこそだと感謝いたしております。

最後になりますが、来年四月からはいよいよ本校高等部の卒業生が社会へ旅立っていきます。子どもたちの未来のためにも、相変わらぬ皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、恵那南高等学校同窓会の今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

思い出の場所は今

岩村高校前 「小川屋」

岩村高校の卒業生のみなさんに学生時代のお話をうかがうと、多くの方のお話に登場するお店が何軒かありました。その中から今回は「小川屋」を取り上げます。みなさんの記憶の中の小川屋さんほどのような印象のお店でしたでしょうか。

岩村高校のグラウンドからすぐのところにあつた「小川屋」を経営しておられたのは小川ふみさんでした。お店を始められたのは昭和十五年でした。初めは町の雑貨屋として、高校生が集まるようなお店ではなかったようです。

昭和二十六年ごろ、小川さんのご息が高校に入学されると、その友人のみなさんが学校帰りに小川屋に寄って帰るようになってきました。どうやらそれが学生たちの憩いのお店になるきっかけだったようです。

最初は雑貨だけだった商品も、学生の求めに応じて、食料品を多く販売するようになり、時代が下がると、五平餅も焼いておられたようです。



開店当時は平屋だった店舗も、昭和三十四年の伊勢湾台風以降、二階を増築され営業を続けられました。したがって、同窓生の



現在は住宅と なっている元店舗



店の名残の換気口と ビニール製ひさし

みなさんの中には、二階がなかったことをご存じでない方もあるかと思えます。

岩村高校の生徒さんたちにとっては、昼休みに教室を抜け出して食事に行かれたり、学校帰りにたむろしたりと高校生活になくはならないお店だったのでないでしょうか。

そうして生徒のみなさんに愛されて来たお店も、一人で切り盛りされていた小川ふみさんが体調を崩されたのに伴って、とうとう昭和五十二年に閉じることとなりました。残念ながら小川さんはその二年後、享年七十四歳でお亡くなりになったそうです。

現在、店舗跡はご息の小川勝さん（昭和三十八年岩村普通科卒業）がお住まいです。そこに店舗があつたことをご存じでない方には店舗の痕跡は見いだせないかも知れません。しかしよく見ると、お店のあつた住宅の一面には、「小川屋」の屋号が掲げられていた名残があったり、五平餅を焼いていたころの換気扇のフードだけが残り、在りし日の「小川屋」の姿を残しています。

Topics

恵那南高校トピックス

恵那南高校となって六年目を迎えています。岐阜県内でもっとも新しい総合学科の高校として、一学年三クラスの定員で毎年新たな生徒を迎え、着実に成果を挙げています。生徒は岩村・明智商業高校時代と同じように、恵那市内はもちろんのこと瑞浪、中津川市内からも通学してきてくれています。

昨年度のものになりますが、生徒たちがいきいきと活躍してくれている様子をお伝えしたいと思えます。校名は変わりましたが、みなさまの後輩として全員が頑張っていることを知っていただければ幸いです。

「ちょっとおんさい祭」を盛り上げました

毎年ゴールデンウィーク期間中におこなわれる明智町の「ちょっとおんさい祭」に、今年も本校生徒がボランティア参加しました。吹奏楽部・ギター・マンドリン部が演奏で参加したのをはじめ、福祉委員・地域振興部・ベンチャービジネス授業選択者などが祭を盛り上げてくれました。

生徒会執行部はわんぱく相撲恵那市大会大正村場所の放送や誘導、参加賞である力士の手形づくりの手伝



おんさい祭をお手伝い

いをしました。当日は天気にも恵まれ、恵那市のあちこちから力自慢の小学生が集まって熱戦がくりひろげられました。

商工会の方からは最後にお礼の言葉と「卒業して働くようになってからも何らかの形で地域の活動に参加して欲しい」というメッセージをいただきました。

小中学生と一緒に

「あいさつ運動」

本校では明智中・明智小・吉田小・恵那特別支援学校と連携して「浪漫学園」と名づけた活動をおこなって

います。福祉保育系列の生徒が明智小へ出向いての「読み聞かせ」をはじめとして、「地域研究」「自然観察」「学校行事」「算数数学」「特別支援」「道徳」などのワーキンググループが活動しています。

六月十三日、本校ガイダンスルームで「学校行事」の取り組みの一つとして、明智中・明智小・吉田小の児童会、生徒会のメンバーを招き、「あいさつについて考える会」を開催しました。

各校があいさつに関する取り組みについて発表しさまざまな取り組みを学ぶことができました。昨年に引き続き、合同でのあいさつ運動を実施することを本校生徒会から提案し、七月五日～七日には、明智小学校・吉田小学校前にて合同あいさつ運動をおこないました。

伊藤さんカヌーで

インターハイ出場

八月、宮城県加美町の鳴瀬川カヌーレーシング競技場で開催された全国高等学校総合体育大会カヌー競技会に伊藤ゆきさんが出場しました。

伊藤さんが出場したのはカヌー競技女子カヤック・シングル部です。本校にはカヌー部はありませんが、伊藤さんは中学の時から地元のカヌークラブで腕を磨き、高校入学後はさらに県下唯一のカヌー部を持つ八百津高校の練習に休日に参加するなどして研鑽を重ね出場しました。

また同月に山梨県でおこなわれた日本カヌースプリントジュニア選手権大会でも岐阜県チームの一員としてみごと六位入賞を果たしました。



伊藤ゆきさん

スポーツ講演会

「オリンピックへの道のり」

七月十三日、本校体育館において、中央大学陸上競技部短距離コーチの青戸慎司先生を招き、スポーツ講演会をおこないました。青戸先生は男子としては日本でただ一人夏季と冬季両方のオリンピックに出場された方で、一〇〇m走の日本記録を樹立したこともある先生です。

お話は現在大学で指導している選

手（世界選手権に出場した市川華菜選手、安部孝駿選手）から始まり、一〇〇m走の選手として二度、ポプスレーの選手として一度、オリンピックに出場したときのご自身の体験を話されました。生徒に対しては、スポーツ選手として成功するための方法、さらに、正しいダイエットの方法まで話してくださいました。

その中で発信してくださいました、「スポーツ選手として大成するためには今勉強することも必要だ」というメッセージが生徒の心に残ったことでしょう。

進学系列が

今年も学習合宿

八月八日～十日、知新會館（旧岩村高校同窓会館）を会場に、一年次から三年次までの進学系列の生徒三十八名が参加し、進学のための学習合宿をおこないました。

この合宿は、家庭学習の習慣をつけることを目的におこなったもので、生徒たちは自分であげた学習計画を元に、一コマ九十分の自学自習を一日六回、計九時間におよぶ学習を三日間にわたりおこなしました。

参加する前は、不安に思っていた生徒たちも三日間の合宿が終わったときには、自分にもこれだけの集中力があつたのだという「自信」と「達成感」を獲得し帰宅していききました。

今回の合宿で得たものを元に、さらに家庭学習を続け、大きな成果をあげてくれるものと思います。

地元をボランティア清掃 「地域会」

夏休み明けの八月二十三日の午前中、生徒たちは各自の地域の清掃活動をおこないました。本校ではこの活動を「地域会」と名づけ、明智商業高校の時から続けています。今年も各地元のゴミ拾いや草むしり、また公共施設のトイレ掃除などをして、普段お世話になっている場所への恩返しをしました。

午後から登校し、体育館でその活動の報告会をおこないました。自分がかきれいに使おうという気持ちもわいてくるという意味の報告が聞かれました。また、地元の方に感謝されうれしかったという感想も多く聞かれました。

佐葦翔祭文化の部 盛り上がる

本校の学校祭は地元を代表する植物であるササユリの古名「佐葦」から「佐葦翔祭」と名づけられています。八月三十日、三十一日の両日、佐葦翔祭文化の部を開催しました。

年を追うごとに盛り上がりを見せる文化祭ですが、今年は特に三年次生の他クラスへの対抗意識も強く、夏休み中から踊りや演技を一生懸命練習する姿が校内のあちこちで見受けられました。発表前日も夜遅くまで残り、最後の仕上げをしています。

二年次生もクラスごとに工夫をこらし、自分たちで意見を出し合ってそれぞれの作品を作り上げていました。

その結果、ステージ発表の部では3Dの演劇「ジャンバラヤ」が最優秀賞を獲得しました。この劇は、インターネットの掲示板の書き込みを見て集まった赤の他人が、家族ごとを演じていく中で「本当の家族とは何か」があまり出されていく内容で、役者の演技をはじめ、大道具なども高く評価されました。



同窓会役員も面接官に 面接練習

九月八日、三年次生が十六日から始まる就職試験をひかえ、最後の面接練習をおこないました。面接官として、PTA役員をはじめ同窓会役員や地元のみなさんにも来ていた

き、いつもの先生方とは違う外部の厳しい目で見ていただきました。生徒たちも普段とは違う緊張感の中、本番で少しでも上手にできるようにと、真剣に臨んでいました。

終了後、面接官を務めていただいたみなさんからは、「社会的な知識が不足しているので、新聞やニュースをもっと見たほうがいい」「用意して来た答えはなんとか答えられるが、いかにも覚えておいたことを答えているといった感が強い。どんな質問にも臨機応変に自分の言葉で答えられるようになってほしい」「みんな素直で好感が持てるが、もっと元気がほしい生徒もいた」といったアドバイスをいただきました。



面接官をつとめるのは度会新会長

大正村で

商品販売実習

地域振興部とベンチャービジネスの授業を選択している生徒が大正村の松徳屋店舗を借りて販売実習をおこ

ないました。地域振興部では、恵那南高校オリジナルキャラクター「ハッケンジャー」をあしらった煎餅や、缶バッジなどを取り扱いました。

また、ベンチャービジネス授業選択者は、五平餅とかき氷の販売をおこないました。生徒たちの大きな「いらっしゃいませ」の声、大正村を元気づけてくれました。

ロードレース大会 全員完走

十二月九日、明智商業高校時代から続く、本校伝統のロードレース大会を開催しました。現在では学校周辺の交通環境が悪くなり、恵那地区でもロードレース大会をおこなうことができない高校は数少なくなりまし



校舎をバックにロードレース

た。朝から雪まじりの雨が降る生憎の天候でしたが、スタート時間を迎えるころには青空も見え始め、長距離走には格好の気温の中、男子十五km、女子十kmを参加者全員が無事に完走しました。

なお、この大会には、同窓会役員、PTA生徒支援委員をはじめとする保護者、地元保護司会のみなさまに交通安全指導としてコースに立って交通安全整理と応援をしていただきました。

スケート部 全国大会で活躍

一月、群馬県総合スポーツセンター屋外リンクで開催されたインターハイに本校スケート部から勝浩城君、沼田梨花さん、水野綾さんの三人が出場しました。

また、今年には昭和四十年の岐阜国体以来四十七年ぶりの「ぎふ清流国体」が開催されますが、その先陣を切ってスケート競技が一月二十七日、三十一日にクリスタルパーク恵那スケート場でおこなわれました。その大会にも沼田さん・水野さんは出場し、沼田さんがリレーの岐阜県メーンバーとして五位入賞を果たしました。

この国体には、スケート部員以外にも競技運営の補助員として陸上部員が協力しました。また、吹奏楽部が開会式で演奏し、式典を盛り上げてくれました。

恵那南高校 の進路状況

平成22年
～23年度

平成二十二年～二十三年度の本校生徒の進路状況を掲載します。

就職では、現在のところ、希望者はほぼ百パーセント就職できています。ただ、長引く不況から、県外からの求人が激減していること、多くの女子が希望する、事務・販売・サービスなどの求人などが傾向として挙げられます。

全体の求人数は少ないながらも、本校生徒の純朴な人柄を評価してくださる地元企業に支えられているのが現状です。

進学は進学系列を中心に、毎年、国公立四年制大学へ合格者を輩出しています。少人数によるきめ細かな指導や、進学校並みの指導が功を奏していると思われまふ。その他にも、学年で半分ほどの卒業生が進学しています。

進学

種別	学校名	H23		H22		
		H23	H22	H23	H22	
国公立	静岡大学	1				
	滋賀大学	1				
	岐阜大学		1			
	信州大学		2			
	岐阜県立看護大学		1			
	愛知学院大学	2	1			
	愛知学院大学		1			
	愛知淑徳大学	1				
	金沢工業大学	1				
	岐阜女子大学	1				
	中京大学		1			
	中京学院大学		1			
	中部大学	3	1			
	中部学院大学	2	3			
私立	東海学院大学		1			
	東海学園大学		1			
	豊橋創造大学		1			
	名古屋学院大学	2				
	名古屋商科大学	3	1			
	藤田保健衛生大学		1			
	名城大学	2				
	公立	岐阜市立女子短期大学	1			
		岐阜県立宝塚たくみアカデミー	1			
	私立	愛知文教女子短期大学		1		
		大垣女子短期大学	1			
		岐阜保健短期大学		2		
		岐阜聖徳学園大学短期大学部	1	1		
		中京学院大学短期大学部	3	2		
中日本自動車短期大学	1					
公立	岐阜県立下呂看護専門学校	1				
	愛知調理専門学校		5			
	あいちビジネス専門学校		1			
	あいち福祉医療専門学校	1	2			
	愛知ヘッド専門学校		2			
	朝日大学歯科衛生士専門学校		1			
	アリアーレビューティ専門学校	1				
	大原簿記情報医療専門学校		1			
	国際観光専門学校		1			
	中日美容専門学校		1			
	中部看護専門学校		1			
	中部国際自動車大学校		1			
	中部美容専門学校		1			
	辻調理師専門学校		3			
私立	東海医療工学専門学校	1				
	東海職業能力開発大学校		1			
	土岐医師会看護専門学校	3	1			
	トヨタ名古屋自動車大学校		2			
	トライデントコンピュータ専門学校	1	1			
	中日本航空専門学校	1	1			
	ナゴノ福祉歯科医療専門学校	1	1			
	名古屋医師会看護専門学校		1			
	名古屋医専		1			
	名古屋医療情報専門学校		1			
	名古屋医療秘書福祉専門学校		1			
	名古屋外語専門学校		1			
	名古屋観光専門学校		4			
	名古屋コミュニケーション・専門学校	2	2			
名古屋情報メディア専門学校	4	1				
名古屋製菓専門学校		1				
名古屋ファッション専門学校		1				
名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校		1				
日産愛知自動車大学校		1				
日本デザイナー学院		1				
日本デザイナー芸術学院		2				
HAL名古屋校		1				
平成医療専門学校		1				

就職

地区	所在地	産業名	H23					H22					
			製造技能	事務	営業販売	サービス	他	製造技能	事務	営業販売	サービス	他	
県外	名古屋市	JR東海東海旅客鉄道株					2						
		新サロント・シャンテ					1						
		眼科三宅病院						1					
		佐川急便株式会社								1			
		敷島製パン株						1					
	豊田市	株福田電工						1					
		トヨタ自動車株						1					
		株テレンプ株	2					3					
	刈谷市	株MAMBO					1				1		
		株デンソー	1					1					
	津島市	株義達屋 ヨシツヤストア			1					1			
		株サンテリア名古屋事業所	1					1					
	春日井市	ナフコ株不二屋			1								
		福友病院					1					1	
西加茂郡 桑名市	東洋ソフラン株						1						
	長島観光開発株				1								
東濃地区 ・ 県内	恵那市	恵那市福祉		1									
		明知カイシ株	2					2					
		明智セラミックス株	1	1				1					
		株明智ゴルフ倶楽部								3			
		株東谷							1				
		青山観光開発株山菜園							1				
		岩村三協株					1						
		株恵那川上屋					1						
		株恵那寿や					1			1			
		恵那検査株	1										
		恵那東海理化学株	1										
		協和タンホール株		1									
		岐阜・大成加工株		1									
		株銀しゃり本舗	1					1					
	恵南森林組合						1						
	社会福祉法人恵和会										1		
	株十六銀行								1				
	シンエイ化成明智	1											
	瑞隆精機株						1						
	タイキャスト東和産業株	2					1						
	千代田電子工業株	1					1						
	東海技研株						1						
	東濃コア一株	1											
	株トーキンシステム						2						
	東邦パック株						2						
	株ナカヤマ						1						
	ハロマ工業株恵那工場	1					1						
	JAひがしみの農業集積販売同組合		1					1					
	本多金属工業株	1					1						
	明光化成工業株	2					2						
	メークス株	1					1						
	南めぐみ介護サービス						1						
	山岡カントリークラブ									1			
	山本石油株								1				
中津川市	株愛工機器製作所	1					1						
	五十嵐工業株	1											
	株川上屋						1						
	株松月堂			1									
	株トキフ					1							
瑞浪市	株伊勢汽船					1							
	瑞隆ゴルフ倶楽部								1				
	東海ヘルキョーデン株					1							
	東濃石油株			1									
	特別養護老人ホーム千寿の里									1			
土岐市	みすなみ瀬戸の里					1							
	医瑞岐会(ひがし)					1				1			
	医聖泉会聖十字病院					1							
	小野田森村マクスシウム株					1							
	高砂工業株	1				2							
多治見市	土岐津産業株	1											
	東濃鉄道株									1			
	平成観光株								1				
可児市	株三井商事東濃金属	1											
大垣市	医静庵会大垣病院					1							
高山市	飛騨運輸株				1								
美濃市	日本トムソン株岐阜製作所					1							

「スケート部 栄光の足跡」

恵那南高校スケート部顧問

深萱しのぶ

私は現在、教員として恵那南高校に勤務している。そして自分が高校時代に育てられたスケート部の顧問として、今度は生徒を育てる立場にいる。岩村高校時代のスケート部が現在の私を作ってくれたと言っても過言ではない。

そこでこの場を借りて、岩村高校スケート部の輝かしい足跡を振り返ってみよう。



練習中の深萱さん

十九年度までの十六年間だ。

しかし、それ以前から岩村高校では、多くのスケート選手が夏は陸上部で、冬はスケート選手として活躍をしていた。その当時は、度会修一先生、安藤和昭先生、河島正弘先生などがスケートを見てくださり、スケートの専門家である光岡郁雄先生が転勤してみえから正式な部となり、岩村高校が統合するまでの十六年間は、全国大会で数多くの入賞者を出し全国でも数々の名を残してきた。県総体においても十六年連続男子総合優勝という記録を残している。

現在、同窓会館（知新會館）の隣に「部活動の栄光の足跡」として石碑がある。そこにスケート部の歴史が記されている。

私が岩村高校に入学した年、光岡先生も転勤して来られ、一年生の時は、夏は陸上部で冬はスケート部で練習していた。その当時は陸上の練習が辛く、早く冬にならないかといつも思っていた。練習をしていくうちに覚えていく。その夏場の練習が冬のスケートに生かされ、おもしろいくらいに記録が伸び結果もついてきた。スケートが好きではなかった私の気持ち



知新會館前の石碑

が少しずつ変わり、欲が出てきたのは高校三年生のころだった。小さいころは人見知りで、何事に対しても欲はなく、人前に立って何かをするなど考えられなかった私が、男子と一緒に練習をして、全国で勝てないわけがないと強く思うようになり、また、全国に友だちができるたびに自信につながっていったのだと思う。また、高校で出会った先生方を見て教員になりたいと思うようにもなった。今の高校生にも何か一つでも自分に自信を持ってもらいたいと思っ

ている。岩村高校スケート部がこのような多くの結果を残せたのも、生徒たちの努力はもちろんのこと、家族、良き指導者や学校、同窓会、地域の方々の協力があったからこそと思う。岩村高校スケート部の輝かしい栄光を引き継ぎ、恵那南高校スケート部も動き出している。今後とも応援よろしくお願いいたします。

スケート部の成績

- 平成4年
 - ・深萱しのぶ
 - 国体少年女子1000m第3位
- 平成5年
 - ・深萱しのぶ
 - 国体少年女子500m第6位、1000m第3位
- 平成7年
 - ・深萱佳永
 - 国体少年女子500m第2位、1000m第5位、全日本Jr 1000m優勝、スプリント総合5位
- 平成8年
 - ・深萱佳永
 - 国体500m第6位、1000m第7位
 - ・森川洋行
 - 国体5000m第8位
- 平成9年
 - ・深萱しのぶ「県民栄誉賞」受賞
 - 全日本学生選手権1000m優勝
- 平成10年
 - ・深萱佳永「県民栄誉賞」受賞
 - 全日本学生選手権1000m優勝
- 平成11年
 - 全日本学生選手権1000m優勝
- 平成12年
 - ・国体少年男子2000mR第4位
 - （鈴木隼人・服部浩文）
- 平成13年
 - ・国体少年男子2000mR第4位
 - （服部浩文・松葉博俊・安済基佳・深萱隆司）
- 平成14年
 - ・安済基佳・中川北斗・深萱隆司
 - 深萱隆司
 - 国体1000m第5位
 - ・保母若那
 - 国体5000m第7位
 - ・国体少年男子2000mR第5位
 - （安済基佳・中川北斗・深萱隆司）
- 平成15年
 - ・国体少年女子2000mR第6位
 - （保母若那）
 - ・国体少年男子2000mR第6位
 - （田口和征・高山雄匠・今井智之・秋山誠道）
 - ・国体少年女子2000mR第6位
 - （保母若那・春日井裕香）
- 平成16年
 - ・インターハイ女子2000mR
 - ・インターハイ女子2000mR
 - 第10位（保母若那・高綱博美・足立沙織・樋口葉子）
 - ・国体少年男子2000mR第7位
 - （田口和征・高山雄匠・秋山誠道）
 - ・国体少年女子2000mR第5位
 - （保母若那・高綱博美・足立沙織・樋口葉子）
- 平成17年
 - ・インターハイ男子2000mR
 - 第9位（田口和征・春日井琢也・宿名辰弥・秋山誠道）
 - ・インターハイ女子2000mR
 - 第7位（足立沙織・高綱博美・樋口葉子・成瀬薫）
 - ・田口和征
 - 国体1000m第4位
 - ・秋山誠道 国体10000m第8位
 - ・国体少年女子2000mR第5位
 - （足立沙織・高綱博美・伊藤千賀子・樋口葉子）
- 平成18年
 - ・インターハイ女子2000mR
 - 第6位（足立沙織・成瀬薫・伊藤千賀子・樋口葉子）
 - ・国体少年男子2000mR第8位
 - （宿名辰弥・春日井琢也）
 - ・国体少年女子2000mR第4位
 - （足立沙織・高綱博美・上田雅世・樋口葉子）

恵那南高等学校同窓会役員

役職名	地区(担当)	役員	
会長 1	(岩村)	度会 敏彦(昭39普)	
副会長 8	岩村地区(岩村)	水野 利美(昭46普)	
	明智地区2(明智)	植田 勝彦(昭39商) 松原 淑明(昭48商)	
	山岡地区(岩村)	中島 利雄(昭39農)	
	上矢作地区(岩村)	荒田 雅晴(昭44普)	
	恵那地区(明智)	小木曾 孝治(昭40商)	
	中津川地区(岩村)	渡辺 和義(昭35普)	
会計 1	(明智)	三浦 育代(昭51商)	
	岩村地区(岩村)	中根 邦子(昭53普)	
理事 14	(明智)	渡辺 和弘(昭49商) 土屋 純子(昭47商)	
	明智地区(岩村)	堀 君史(昭48普) 中村 俊彦(昭59商)	
	山岡地区(岩村)	度会 憲治(昭42普) 勝川 妙子(昭42商)	
	上矢作地区(岩村)	川上 好美(昭41普) 三宅 武利(昭51商)	
	恵那地区(岩村)	小林 良平(昭43農) 吉里 芳伸(昭54商)	
	中津川地区(岩村)	後藤 初秋(昭41農) 吉田あけみ(昭48事)	
	瑞浪地区(明智)	農見 孝之(昭57商)	
	監査 2	(岩村)	河田 清文(昭37農)
		(明智)	梅村 吾三(昭38商)
	顧問		大嶽 和好(学校長)
相談役		西久保成樹(昭34商) (岩村高校旧同窓会長)	
		小松 房行(昭37商) (明智商業高校旧同窓会長)	
		勝 正憲(昭38商) (恵那南高校前同窓会長)	
事務局	事務局 長	奥村 直之	

第五回同窓会総会を開催

平成二十四年六月二十三日(土)、第五回同窓会総会を開催しました。総会は隔年で岩村町と明智町に会場を変えておこなっており、今年度は岩村知新會館での開催でした。

総会では昨年度の決算・事業報告、今年度の予算・事業案、さらには年度会新会長を含んだ新役員案などをそれぞれ承認しました。

同窓会役員を中心に一般会員の参加も得て無事に終了しましたが、参加者の中には、新しく恵那南高校を卒業した若い会員もあり、恵那南高校同窓会として、新たな力が育っていることが感じられました。

総会は毎年六月の第四土曜日に開催する申し合わせになっています。



ます。次回は平成二十五年六月二十二日に明智町で開催する予定です。多くの会員のみならず、参加をお待ちしています。

同窓会から 三人を表彰

毎年、「同窓会表彰」として、学習・部活動・生徒会活動などで模範的な活躍をした現役の生徒を学年ごとに一人ずつ表彰しています。

平成二十三年度は一年B組伊藤みどりさん、二年D組水野綾さん、三年B組勝浩城くんの三人を表彰しました。

伊藤さんは学習において学年トップクラスの成績を維持するとともに、生徒会執行部(書記)として活躍してくれました。

水野さんはスケート部に所属し、全国高校総体と冬季国体に出場、恵那南高校の名を高めてくれました。

勝くんもスケート部員として、全国高校総体出場を果たすとともに、部

平成24年度恵那南高等学校同窓会収支予算書

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

項目	24年度予算額	摘要
繰越金	3,738,718	
入会金	520,000	5,000円×104名(平成24年度卒業生)
年会費	1,000,000	
負担金	0	
繰入金	0	
雑収入	282	預金利息
合計	5,259,000	

(支出の部)

項目	24年度予算額	摘要
管理運営費	376,000	
支部補助金	50,000	
旅費	80,000	
会議費	76,000	
消耗品費	50,000	
通信費	120,000	
会報発行費	1,500,000	
生徒報奨金	30,000	10,000円×3人
慶弔費	50,000	
予備費	3,303,000	
合計	5,259,000	

予算の流用については会長の専決による

表彰された三人(左から伊藤さん・水野さん・勝くん)



員数の少ない野球部の助っ人として、本年度は野球部にも所属、夏の全国高校野球選手権大会岐阜県大会に出場し、試合では野球部の貴重な戦力として活躍、勝利に貢献してくれた点が評価され表彰対象となりました。

会費納入のお願い

平素は本会の活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、同窓会活動を支える経費は、入会金と会員の皆様からの会費を財源としております。しかしながら、生徒減少にもなう入会金の減少をはじめとし、収入は不足しております。逆に、この会報発行だけでも百五十万円を要し、非常に厳しい財政状態となっています。

同封の振込用紙を利用いただき、ぜひ会費を納入していただきませう。ご協力お願いします。

なお、郵便局では窓口より機械での振り込みの方が手数料がお安くなりますので、ぜひ機械でお願いいたします。